

2022年12月15日 全8頁

Indicators Update

2022年11月貿易統計

輸出は冴えないが輸入額の増加ペースが鈍化し貿易収支は改善

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2022年11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+20.0%と21カ月連続で増加した。他方、輸出数量（大和総研による季節調整値）は3カ月ぶりに減少した。輸入金額は同+30.3%と伸び率が前月から急速に鈍化し、交易条件が小幅に改善した。これを受け、貿易収支は▲2兆274億円と16カ月連続の赤字となった。季節調整値では▲1兆7,323億円となっており、8月をピークに赤字額は減少傾向に転じている。
- 11月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲1.6%と、3カ月ぶりに減少した。主力の自動車輸出が回復する一方で、半導体関連財の不況や外需の縮小による資本財・中間財輸出の減少が足を引っ張った。他方、欧州向けを中心に自動車輸出の回復が一層進んだ。地域別に見ると、米国向け（同▲5.3%）やアジア向け（同▲4.8%）が減少した一方、EU向け（同+2.8%）は増加に転じた。
- 先行きの輸出数量は横ばい圏で推移した後、中国経済の正常化の進展を背景に増加基調に転じるとみている。供給制約の緩和や中国での「ゼロコロナ」政策の緩和が押し上げ要因となる一方、米欧における利上げの継続が輸出の重しとなる見込みだ。

【貿易金額】 輸入価格の上昇率が低下し交易条件が小幅に改善

2022年11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+20.0%と21カ月連続で増加した（**図表1**）。季節調整値では前月比▲1.3%と3カ月ぶりに減少した。輸出の実勢を示す輸出数量（大和総研による季節調整値）が3カ月ぶりに減少したためである（**図表2左**）。主力の自動車輸出が順調に持ち直している一方で、外需の縮小を背景にその他の資本財や中間財の輸出が減少した。

輸入金額は前年比+30.3%と引き続き高い伸びであったものの、伸び率は前月から急速に鈍化し、交易条件が小幅に改善した（**p.6右下**）。品目別では原油及び粗油や液化天然ガス、石炭などが増加したが、これらの輸入価格の上昇ペースは落ち着きつつある。季節調整値では前月比▲5.3%と2カ月ぶりに減少した。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量（大和総研による季節調整値）が同▲6.5%となり輸入金額を大きく押し下げた（**図表2右**）。前月に輸入数量が大きく伸びた反動に加え、輸入インフレの下で需要が下押しされた可能性がある。

これを受け、貿易収支は▲2兆274億円と16カ月連続の赤字となった。季節調整値では▲1兆7,323億円となっており、赤字額は8月をピークに減少傾向に転じている（**図表3**）。

図表1：貿易統計の概況

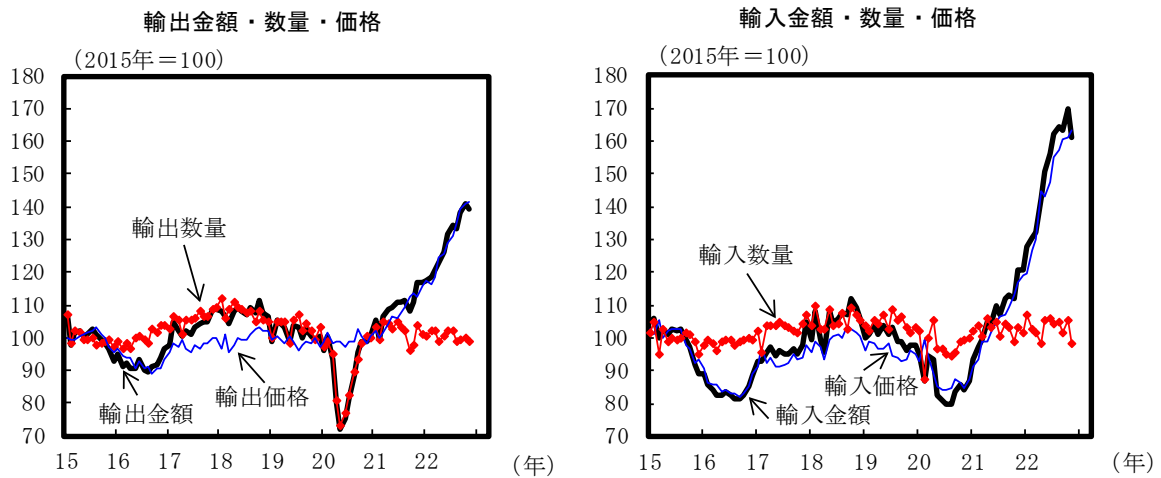
		2022年									
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
原系列 前年比 %	輸出金額	14.7	12.5	15.8	19.3	19.0	22.0	28.9	25.3	20.0	
	コンセンサス									19.7	
	DIRエコノミスト予想									20.8	
	輸入金額	31.3	28.3	48.8	46.0	47.3	49.8	45.8	53.5	30.3	
	輸出数量	▲1.4	▲4.4	▲3.5	▲1.5	▲1.9	▲1.1	3.8	▲0.3	▲3.6	
	価格	16.3	17.7	20.0	21.1	21.3	23.4	24.2	25.7	24.4	
	輸入数量	▲0.1	▲9.0	4.7	1.3	2.2	2.7	▲1.7	5.7	▲4.6	
季節 調整値 前月比 %	価格	31.4	40.9	42.2	44.1	44.0	45.8	48.3	45.3	36.6	
	貿易収支(億円)	▲4,240	▲8,538	▲23,906	▲14,042	▲14,449	▲28,248	▲20,998	▲21,662	▲20,274	
	輸出金額	1.9	1.8	2.5	4.3	2.2	▲0.7	3.4	2.2	▲1.3	
	数量	0.0	▲3.0	1.7	1.5	0.3	▲3.2	0.2	0.9	▲1.6	
	価格	1.9	5.0	0.8	2.8	1.9	2.6	3.2	1.3	0.3	
	輸入金額	1.3	8.0	5.7	3.6	3.7	1.5	▲0.9	4.2	▲5.3	
	数量	▲1.4	▲2.9	6.9	0.5	▲1.2	0.1	▲3.1	3.8	▲6.5	
価格	2.7	11.2	▲1.1	3.2	5.0	1.4	2.3	0.3	1.3		
	貿易収支(億円)	▲10,134	▲15,669	▲19,041	▲19,219	▲21,146	▲23,338	▲19,554	▲22,076	▲17,323	
	税関長公示レート	115.86	122.84	129.17	130.35	136.05	135.08	139.81	145.09	146.43	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

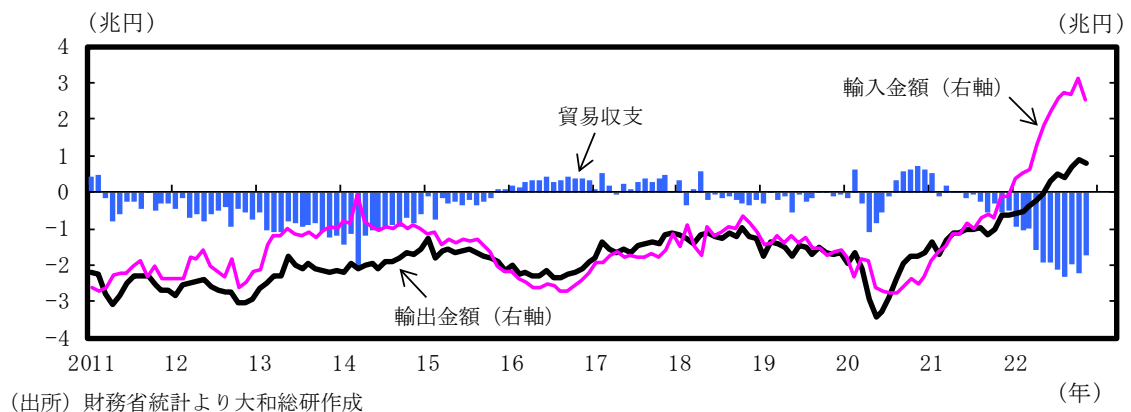
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】外需の縮小や半導体関連財の不況により輸出数量は3カ月ぶりに減少

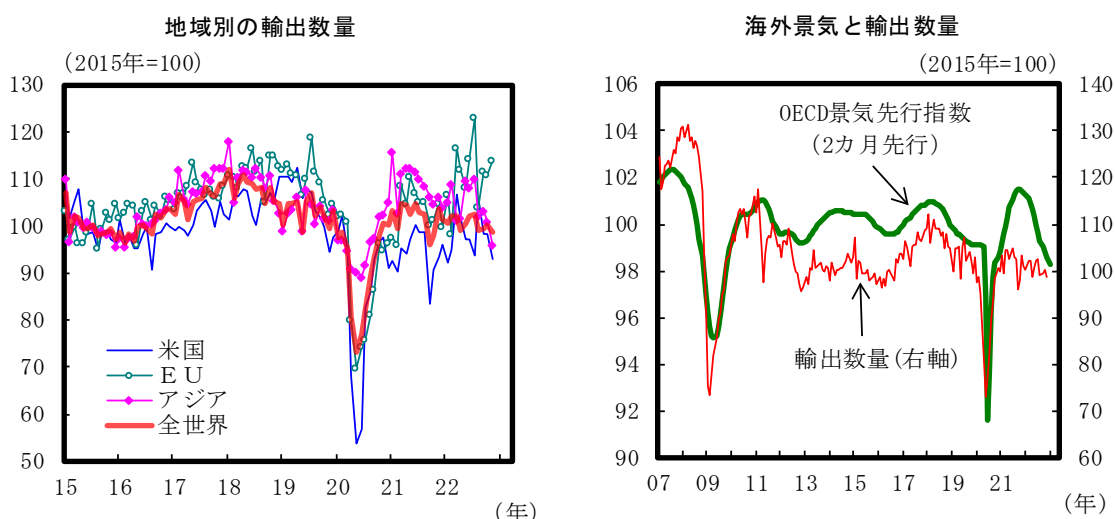
11月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲1.6%と、3カ月ぶりに減少した。半導体関連財の不況や外需の縮小による資本財・中間財輸出の減少が足を引っ張った。他方、欧州向けを中心に自動車輸出の回復が一層進んだ。地域別に見ると、米国向け（同▲5.3%）やアジア向け（同▲4.8%）が減少した一方、EU向け（同+2.8%）は増加に転じた。

米国向けは2カ月ぶりに減少した。原動機や自動車の部分品などの中間財において前月の大幅増の反動が表れた。また、電算機類の部分品や自動車も小幅に減少した。大きく増加した品目は振れの大きい鉄鋼や医薬品のみであり、その他の幅広い品目は減少していることから、米国経済の減速の影響が対米輸出に表れたとみられる。

EU向けは2カ月ぶりに増加した。自動車輸出が急増し、コロナショック直前（2020年2月）を上回る台数まで回復した。また鉄鋼や非鉄金属は大幅増、自動車の部分品やプラスチックは大幅減と、中間財の動きはまちまちであった。なお、対欧輸出の柱である半導体等製造装置はおおむね横ばいであった。

アジア向けは2カ月連続で減少した。中国向け（前月比+0.4%）は「ゼロコロナ」政策の緩和もあって小幅に増加したが、ASEANを中心としたその他のアジア向けの資本財・中間財輸出が低調であった。とりわけシリコンサイクル（3～4年周期で循環する半導体の在庫循環）が在庫調整局面に差し掛かる中で、集積回路（IC）や半導体等製造装置といった半導体関連財が大きく減少した。また、自動車の部分品や原動機、プラスチックなどは前月の大幅増の反動で全体を押し下げた。他方、中国向けの自動車輸出は大幅に増加し全体を下支えした。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD加盟国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】中国の感染状況は改善も米欧での一層の利上げが輸出の重しに

先行きの輸出数量は横ばい圏で推移した後、中国経済の正常化に沿って増加基調に転じるとみている。供給制約の緩和や中国での「ゼロコロナ」政策の緩和が押し上げ要因となる一方、米欧における一層の利上げが輸出の重しとなる見込みだ。

輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは緩やかな減少基調に転じるとみている。米国の個人消費はタイトな金融環境の中でも底堅く推移してきたが、今後は利上げの悪影響が本格的に表れることで景気の更なる悪化が懸念される。また、12月のFOMCにおける利上げ幅は0.50%ptと5会合ぶりに0.75%ptを下回ったが、2023年も追加利上げが実施される可能性が高い。こうした影響を受けて日本からの対米輸出はいずれ減少基調へと転じるだろう。

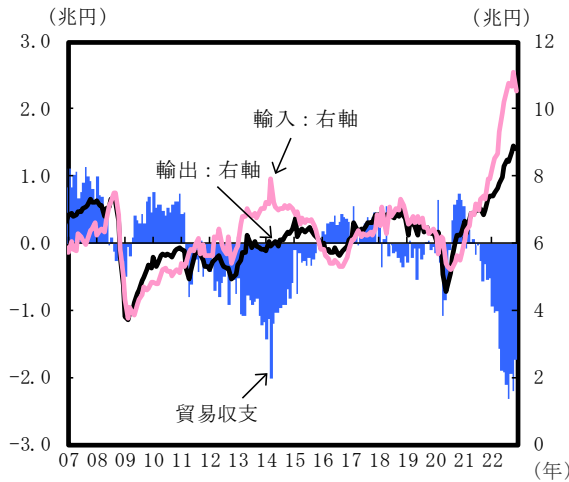
欧州向けは減少基調を辿るとみている。欧州委員会によれば、ユーロ圏の企業が生産活動の妨げになる要因として挙げているのは主に材料・機器不足であったが、足元ではむしろ需要不足を挙げる割合が増加している¹。対欧輸出の主力は資本財であるため、仕向け先における材料・機器不足の解消によって日本の輸出を押し上げていた要因が剥落する可能性には注意が必要だ。ウクライナ問題を主因としたエネルギー不足によって企業の景況感が悪化する中、金利上昇による借り入れコストの増加もあって、日本からの対欧輸出は軟調に推移するだろう。

中国向けは緩やかな増加基調に向かい、経済活動の正常化の進展で回復が加速するとみている。中国では11月に1日あたり新規感染者数が増加する中で行動制限などが課された。もっとも、同月上旬から足元にかけて「ゼロコロナ」政策の見直しが進んだことで、規制の内容は緩やかなものへと変わりつつある。感染状況次第ではあるものの、規制緩和によって「ウィズコロナ」への転換が進めば日本の対中輸出が加速するだろう。

¹ 詳細は近藤智也「[欧州経済見通し 景気の谷は浅いか深いか](#)」（大和総研レポート、2022年11月22日）を参照。

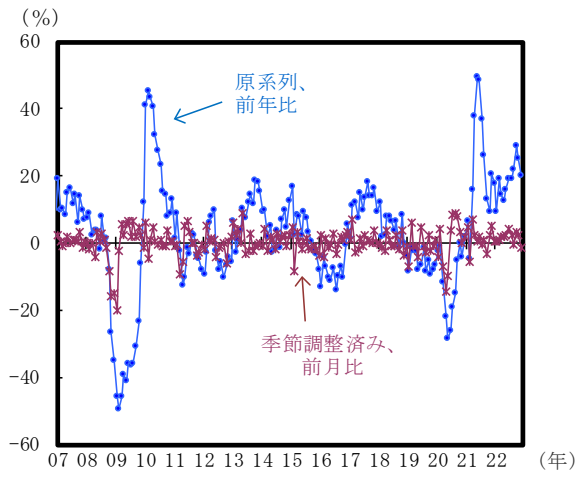
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

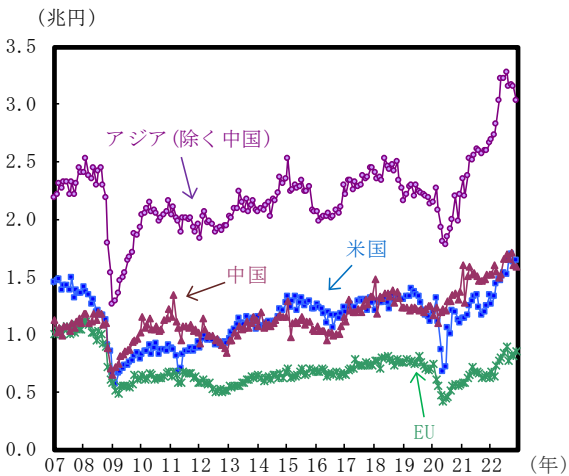


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

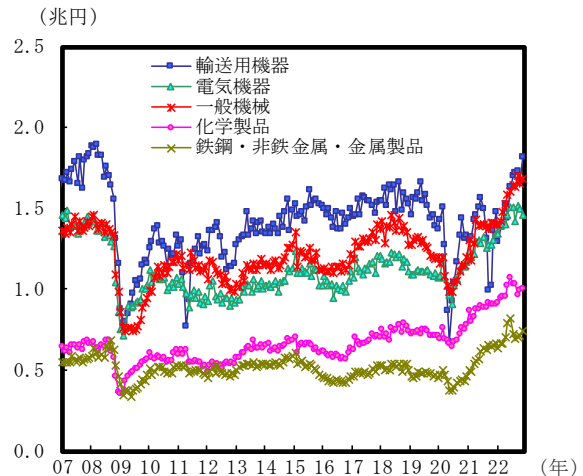


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

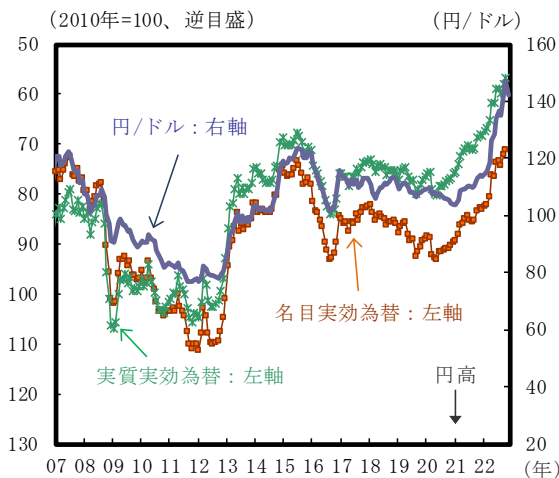


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

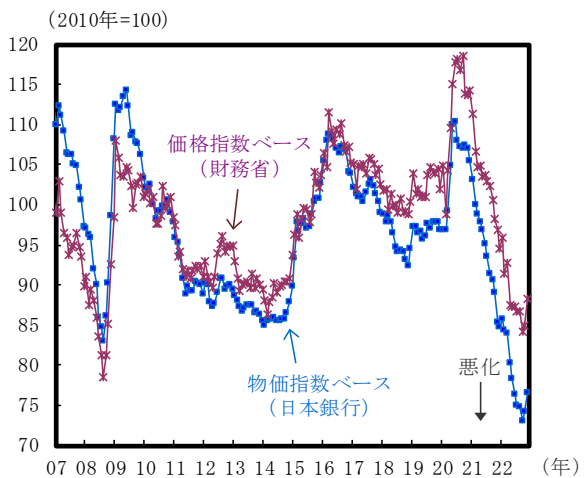


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	19.3	19.0	22.0	28.9	25.3	20.0	100.0	20.0
食料品	25.8	21.6	15.2	14.9	16.6	16.1	1.2	0.2
原料品	9.0	17.8	7.7	14.3	15.3	13.6	1.5	0.2
鉱物性燃料	341.5	142.3	171.0	86.7	76.1	20.3	1.6	0.3
化学製品	19.6	15.9	16.3	4.9	10.0	10.7	11.4	1.3
原料別製品	31.0	16.3	12.3	10.0	12.4	13.5	11.5	1.6
鉄鋼	44.2	13.0	11.2	4.5	7.3	11.0	4.7	0.6
非鉄金属	30.7	23.2	12.4	12.1	18.1	17.6	2.3	0.4
金属製品	5.0	4.6	4.3	10.1	9.5	11.7	1.3	0.2
一般機械	14.3	17.3	17.0	23.8	17.6	18.9	18.9	3.6
電気機器	17.1	13.8	13.0	19.6	17.9	11.4	16.8	2.1
半導体等電子部品	29.6	20.8	8.9	20.4	20.1	11.4	5.5	0.7
I C	41.2	24.8	8.9	27.8	24.1	12.0	3.9	0.5
映像機器	132.4	134.5	122.5	121.0	108.8			
映像記録・再生機器	63.1	58.3	39.2	40.8	31.6	20.3	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲16.9	▲35.4	▲8.3	7.9	▲15.4	▲14.2	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	10.2	14.2	13.2	15.6	16.0	15.9	2.3	0.4
輸送用機器	3.4	14.6	30.8	75.0	61.4	33.9	22.6	6.9
自動車	0.4	13.7	39.3	122.3	81.0	38.3	16.2	5.4
自動車の部分品	1.8	0.8	13.3	12.4	24.5	5.1	3.5	0.2
その他	27.6	30.8	31.5	34.8	29.7	27.1	14.7	3.8
科学光学機器	12.2	22.0	15.0	12.1	18.5	7.3	2.6	0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	15.7	14.1	33.8	45.3	36.6	32.5	100.0	32.5
食料品	34.9	15.5	1.6	▲1.3	▲11.0	▲7.6	0.6	▲0.1
原料品	26.8	0.4	17.5	15.6	22.0	14.6	0.5	0.1
鉱物性燃料	659.8	104.9	115.1	37.2	419.7	▲86.9	0.0	▲0.3
化学製品	58.0	18.5	61.0	30.2	20.7	56.2	8.5	4.1
原料別製品	45.4	21.5	40.0	37.6	19.3	30.1	6.5	2.0
鉄鋼	128.1	19.3	118.8	62.5	17.7	80.0	1.8	1.0
非鉄金属	61.5	53.0	85.6	50.3	50.9	37.1	0.9	0.3
金属製品	1.0	4.2	7.9	14.4	8.2	16.4	1.2	0.2
一般機械	19.6	23.9	28.2	30.6	30.6	39.6	25.2	9.5
電気機器	8.6	▲0.3	18.2	27.7	19.6	14.1	12.7	2.1
半導体等電子部品	2.9	8.2	9.6	31.0	9.0	6.3	1.2	0.1
I C	20.2	17.1	14.7	68.5	20.9	9.9	0.5	0.1
映像機器	29.9	36.3	28.8	56.6	29.8			
映像記録・再生機器	39.3	33.8	14.2	58.5	38.0	11.9	0.6	0.1
音響・映像機器の部分品	5.1	▲84.7	▲60.5	▲30.0	▲49.3	▲52.8	0.1	▲0.2
電気回路等の機器	11.9	9.5	19.0	23.3	19.1	13.2	1.2	0.2
輸送用機器	0.3	6.8	38.5	92.3	68.5	34.6	34.7	11.8
自動車	▲0.7	8.4	34.6	119.2	78.6	41.1	28.4	11.0
自動車の部分品	8.4	▲2.7	44.4	27.2	31.1	2.6	4.5	0.2
その他	2.1	24.1	29.6	25.7	26.2	29.0	11.2	3.3
科学光学機器	16.5	32.3	32.2	27.1	38.9	39.2	2.8	1.0

EU向け輸出金額 内訳								
	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	22.2	31.7	16.7	33.2	28.1	32.0	100.0	32.0
食料品	27.9	1.7	▲19.1	18.7	▲4.8	▲14.4	0.4	▲0.1
原料品	27.3	50.7	27.9	7.5	32.5	▲1.0	0.7	▲0.0
鉱物性燃料	65.3	192.8	▲61.9	248.5	101.1	▲38.6	0.0	▲0.0
化学製品	18.3	32.5	32.5	11.5	11.6	7.3	10.0	0.9
原料別製品	44.4	25.0	▲15.4	36.7	25.9	61.5	8.5	4.3
鉄鋼	116.0	2.9	▲61.3	172.5	30.9	208.9	3.2	2.9
非鉄金属	30.3	67.3	31.4	▲5.7	40.7	45.2	1.0	0.4
金属製品	▲0.8	12.5	1.3	15.2	17.0	15.6	1.2	0.2
一般機械	11.4	27.2	14.0	23.6	17.6	30.5	22.7	7.0
電気機器	15.3	20.4	5.7	14.0	19.8	21.1	15.7	3.6
半導体等電子部品	22.7	18.7	11.7	12.0	27.9	21.1	2.0	0.5
I C	34.4	30.4	10.4	11.9	21.5	11.0	0.8	0.1
映像機器	132.0	143.0	101.4	67.6	59.1			
映像記録・再生機器	122.9	114.1	102.6	43.9	23.4	42.0	0.8	0.3
音響・映像機器の部分品	▲23.0	12.9	▲4.5	▲23.3	▲14.3	▲48.9	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	7.8	22.6	11.5	17.9	16.8	35.9	1.7	0.6
輸送用機器	21.1	44.4	37.8	97.8	77.5	66.0	27.8	14.6
自動車	34.0	77.0	76.2	194.0	101.7	69.9	18.8	10.2
自動車の部分品	▲7.9	▲2.8	▲9.4	▲6.6	13.0	8.5	3.3	0.3
その他	41.5	36.5	18.6	25.0	14.9	10.6	14.1	1.8
科学光学機器	46.0	54.3	20.2	25.3	33.0	26.5	4.2	1.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	18.8	21.1	18.1	20.6	16.6	11.6	100.0	11.6
食料品	24.1	23.9	19.6	17.5	23.3	22.8	1.7	0.4
原料品	7.3	15.0	8.2	14.8	13.2	14.0	2.3	0.3
鉱物性燃料	158.5	191.2	296.2	98.5	30.3	▲9.2	1.6	▲0.2
化学製品	13.0	13.5	6.9	1.6	5.1	5.7	14.9	0.9
原料別製品	28.4	14.9	10.0	5.7	9.5	7.0	14.3	1.1
鉄鋼	35.9	13.4	10.5	▲2.9	5.5	1.0	6.1	0.1
非鉄金属	33.7	19.6	7.9	11.5	13.1	10.5	3.5	0.4
金属製品	8.2	6.3	4.8	8.0	7.4	7.6	1.4	0.1
一般機械	11.4	14.7	12.4	19.6	10.6	9.1	17.8	1.6
電気機器	19.4	16.6	12.9	19.1	16.6	9.0	21.6	2.0
半導体等電子部品	31.0	21.1	8.3	20.4	19.8	10.9	9.3	1.0
I C	41.8	24.7	8.4	26.9	24.2	12.1	6.8	0.8
映像機器	295.6	302.0	285.6	236.7	228.9			
映像記録・再生機器	60.0	60.5	47.6	24.7	24.5	13.6	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲20.7	▲11.1	2.5	14.1	▲15.8	0.6	0.3	0.0
電気回路等の機器	10.0	13.8	12.4	15.8	14.2	13.8	3.2	0.4
輸送用機器	▲5.0	30.3	27.4	72.0	48.1	22.0	8.7	1.7
自動車	▲17.8	21.0	43.7	164.0	71.6	24.7	4.5	1.0
自動車の部分品	6.0	10.3	9.9	13.1	28.9	5.2	2.8	0.2
その他	31.3	32.1	33.0	33.5	29.4	25.0	17.1	3.8
科学光学機器	3.8	12.1	7.5	4.0	8.8	▲5.9	2.7	▲0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	7.4	12.8	13.4	17.1	7.7	3.5	100.0	3.5
食料品	23.2	41.8	38.9	35.4	26.4	43.6	1.3	0.4
原料品	17.7	45.7	35.0	15.5	14.1	40.4	2.9	0.9
鉱物性燃料	180.4	294.0	250.6	65.8	135.3	10.4	0.8	0.1
化学製品	10.4	11.0	4.7	0.1	4.1	7.7	18.3	1.3
原料別製品	11.7	7.9	8.2	3.1	▲0.3	▲2.6	11.6	▲0.3
鉄鋼	4.2	▲0.1	8.3	▲7.9	2.4	▲11.7	3.3	▲0.5
非鉄金属	23.2	14.7	13.1	8.0	▲10.9	▲8.7	3.3	▲0.3
金属製品	0.7	▲1.6	▲3.4	▲0.2	2.7	0.9	1.6	0.0
一般機械	1.1	8.7	8.7	14.8	▲3.0	▲3.2	21.5	▲0.7
電気機器	15.2	15.6	7.9	16.5	9.6	2.7	21.8	0.6
半導体等電子部品	37.8	21.2	▲13.8	20.1	8.5	2.2	7.2	0.2
I C	51.2	28.6	▲20.6	26.8	13.3	2.2	5.2	0.1
映像機器	406.2	418.0	353.1	279.0	294.0			
映像記録・再生機器	51.1	48.8	36.6	▲1.7	▲7.0	▲11.0	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲49.3	▲31.8	▲33.7	▲16.2	▲40.4	▲6.3	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	6.9	14.5	13.5	21.1	14.0	10.2	3.5	0.3
輸送用機器	▲22.8	5.5	19.6	92.3	34.3	▲0.9	8.8	▲0.1
自動車	▲23.2	18.2	55.2	336.8	71.8	11.3	5.7	0.6
自動車の部分品	▲21.1	▲13.0	▲18.8	▲9.7	3.0	▲18.8	2.9	▲0.7
その他	12.4	10.6	29.5	20.9	14.6	10.9	13.0	1.3
科学光学機器	▲12.5	▲16.5	▲4.7	▲7.8	▲0.2	▲10.6	3.4	▲0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成